

JAバンクにおける 地方税統一QRコード対応状況について

2022年3月14日
農林中央金庫

JAバンク
対応方針

- JAバンクとしては、地方税統一QRコード対応に向けた開発を行う方向で検討中
- JAバンクの本件に関するシステムインフラは当金庫が運営を担う全国統一のシステムであり、当金庫にて本件対応に向けた検討を進めている状況。
 - JAバンク会員数は、JA（農協）563、JA信農連32、当金庫の合計596（2021年4月1日現在）。

対応スケ
ジュール
(案)

2024/7以降、約1年程度をかけて窓口端末更改を終えたJAより順次開始する方向で検討中

- JAバンクでは窓口端末更改対応中であり、既に制度導入2023/4月に間に合わせることは極めて困難な開発工程にある状況。
- 制度導入には間に合わないものの、本件趣旨等踏まえ、可能な限り早く対応すべく、窓口端末更改にあわせ導入する方向で進めている。

システム対
応完了まで
の対応
(案)

現時点では既存の納税方法による対応を継続する方向

- JAバンクの窓口端末更改が完了するまでの対応については、継続検討中だが、現時点では既存の納税方法による対応を継続する方向。
- 加えて、「非対面チャネルでの納税」機能の強化・利用促進を検討し、お客様の利便性向上、ならびに地方公共団体への紙ベースでの収納を減らす取組みを実施する方向。

※上記は、検討中の内容を含んでおり、今後変更となる可能性がありますので、ご注意ください。